



# 平成30年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月11日

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス  
 コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 垣内 康晴  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 堀田 欣弘  
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3254-2501

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	1,443	5.2	138	29.2	139	29.3	110	30.9
29年2月期第1四半期	1,372	5.7	196	10.9	196	11.6	160	5.0

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 110百万円 (30.9%) 29年2月期第1四半期 159百万円 (8.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	4.10	
29年2月期第1四半期	5.79	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第1四半期	5,353	4,605	86.0	173.46
29年2月期	5,538	4,813	86.9	177.55

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 4,602百万円 29年2月期 4,810百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		7.00	7.00
30年2月期					
30年2月期(予想)		0.00		7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,877	8.6	293	10.4	290	9.8	193	20.0	7.31
通期	5,842	7.6	671	0.1	668	0.6	451	3.8	17.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期1Q	32,937,249 株	29年2月期	32,937,249 株
期末自己株式数	30年2月期1Q	6,402,156 株	29年2月期	5,844,056 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期1Q	26,944,693 株	29年2月期1Q	27,662,413 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、EU諸国の政治動向や米政権の政策の影響による海外経済の不確実性等、先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境下、雇用情勢については企業収益の改善が続く中で採用意欲の回復傾向は継続しており、当社の戦略地域である静岡県においては平成29年5月の有効求人倍率が前年同月比0.20ポイント上昇の1.54倍となり、雇用環境は底堅く推移しております。

このような状況において当社グループでは、魅力ある情報サービスを開発・展開し、商品力・販売力を強化することで地域の競争力強化と収益基盤の拡大を図ることに注力しました。

当社主力事業である求人情報事業では、企業の採用意欲が継続している市場環境下、前連結会計年度に実施した愛知県内のエリア拡大に伴う新商品、新サービスの認知促進を図りました。既存商品、既存エリアにおいては、地域競争力の更なる強化を図るため、応募効果促進のための広告販促費の投下等、商品力の強化に努めました。また、属性に応じた求人ニーズに応えるべく、製造業を対象としたリアルマッチングイベント「工場のお仕事紹介フェア」や子育てママから就職、転職を希望する女性のための合同企業面談会「シゴトフェア Woman」を静岡県内東部・中部・西部の各地域で開催しました。

前連結会計年度に開始しました学童保育事業においては、平成29年3月に静岡県浜松市に第2号校として「英語で預かる学童保育・プリスクール施設『Kids Duo (キッズデュオ)』佐鳴台」を開校いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は1,443百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。売上原価は、444百万円（前年同四半期比10.9%増）、販売費及び一般管理費は、860百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。営業利益は、商品力強化のための広告販促費、新エリア、新商品に係る直接費用等が増加したため138百万円（前年同四半期比29.2%減）となりました。経常利益は139百万円（前年同四半期比29.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は110百万円（前年同四半期比30.9%減）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

#### (情報提供事業)

情報提供事業では、前連結会計年度に愛知県内において販売エリアを拡大した無料求人誌「DOMO（ドーマ）」あいち版や新たに3版を発行した「DOMOリーフ」の販売が堅調に推移し、また、ネット商品である正社員向け転職・就職サイト『JOB（ジョブ）』・求人情報サイト『DOMO NET（ドーマネット）』の販売も増加したため、売上高は1,176百万円（前年同四半期比5.5%増）、セグメント利益は265百万円（前年同四半期比22.7%減）となりました。

#### (販促支援事業)

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において首都圏地域での販売量の増加や子育て主婦向けダイレクトプロモーションの顧客獲得、販路拡大が伸長したため、販促支援事業における売上高は279百万円（前年同四半期比5.0%増）、セグメント利益は44百万円（前年同四半期比23.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が5,353百万円(前連結会計年度末比3.3%減)、負債が747百万円(前連結会計年度末比3.1%増)、純資産が4,605百万円(前連結会計年度末比4.3%減)となりました。また、自己資本比率は86.0%となりました。

資産の部では、流動資産が4,438百万円(前連結会計年度末比4.3%減)となりました。内訳として、現金及び預金が3,669百万円(前連結会計年度末比4.7%減)、売掛金が552百万円(前連結会計年度末比11.3%減)等となったためです。

固定資産は914百万円(前連結会計年度末比1.4%増)となりました。内訳として、有形固定資産が625百万円(前連結会計年度末比0.7%増)、無形固定資産が100百万円(前連結会計年度末比5.6%減)、投資その他の資産が188百万円(前連結会計年度末比7.9%増)となったためです。

負債は747百万円(前連結会計年度末比3.1%増)となりました。これは、未払金が496百万円(前連結会計年度末比9.0%増)、賞与引当金が55百万円(前連結会計年度末比34.2%減)等となったためです。

純資産は4,605百万円(前連結会計年度末比4.3%減)となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当により利益剰余金が4,775百万円(前連結会計年度末比1.6%減)、自己株式の取得により自己株式が1,172百万円(前連結会計年度末は1,043百万円)となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期業績予想につきましては、平成29年4月11日付「平成29年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表した業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,849,810	3,669,150
売掛金	623,092	552,441
その他	163,446	217,420
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	4,636,049	4,438,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	157,871	166,204
土地	444,475	444,475
建設仮勘定	3,676	—
その他(純額)	14,998	14,732
有形固定資産合計	621,020	625,412
無形固定資産		
ソフトウェア	96,290	90,356
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	106,897	100,962
投資その他の資産		
その他	175,874	189,600
貸倒引当金	△1,250	△1,197
投資その他の資産合計	174,624	188,402
固定資産合計	902,541	914,778
資産合計	5,538,591	5,353,490
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	455,272	496,254
賞与引当金	84,178	55,395
その他	184,464	196,217
流動負債合計	723,914	747,866
固定負債		
繰延税金負債	1,296	—
固定負債合計	1,296	—
負債合計	725,211	747,866
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,425	540,425
利益剰余金	4,854,517	4,775,566
自己株式	△1,043,669	△1,172,232
株主資本合計	4,807,271	4,599,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,502	4,502
為替換算調整勘定	△1,362	△1,322
その他の包括利益累計額合計	3,139	3,179
非支配株主持分	2,968	2,687
純資産合計	4,813,379	4,605,624
負債純資産合計	5,538,591	5,353,490

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	1,372,679	1,443,881
売上原価	400,515	444,184
売上総利益	972,163	999,696
販売費及び一般管理費	776,102	860,854
営業利益	196,061	138,842
営業外収益		
受取利息	60	37
受取賃貸料	210	210
その他	1,797	2,382
営業外収益合計	2,067	2,629
営業外費用		
為替差損	928	367
その他	405	2,011
営業外費用合計	1,333	2,379
経常利益	196,795	139,092
税金等調整前四半期純利益	196,795	139,092
法人税、住民税及び事業税	20,824	18,216
法人税等調整額	16,075	10,482
法人税等合計	36,900	28,699
四半期純利益	159,895	110,393
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△408	△308
親会社株主に帰属する四半期純利益	160,303	110,701

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	159,895	110,393
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	23	66
その他の包括利益合計	23	66
四半期包括利益	159,918	110,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,317	110,740
非支配株主に係る四半期包括利益	△398	△281

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結会計期間において、平成29年4月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間において、自己株式が128,562千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において1,172,232千円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,115,441	257,237	1,372,679	—	1,372,679
セグメント間の内部売上高 又は振替高	245	9,069	9,314	△9,314	—
計	1,115,686	266,306	1,381,993	△9,314	1,372,679
セグメント利益	343,116	36,003	379,120	△183,059	196,061

(注) 1. セグメント利益の調整額△183,059千円は、セグメント間取引消去1,373千円及び全社費用△184,433千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,176,995	266,885	1,443,881	—	1,443,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	12,752	12,752	△12,752	—
計	1,176,995	279,638	1,456,634	△12,752	1,443,881
セグメント利益	265,286	44,469	309,755	△170,913	138,842

(注) 1. セグメント利益の調整額△170,913千円は、セグメント間取引消去1,110千円及び全社費用△172,023千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。